

子供宝也 No.5

平成 25 年 5 月 15 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

えう、ご期待！！

今年も体育大会は総合高校をお借りして行います。昨年度の体育大会はリズム運動がなかったため、練習場所や練習時間が足りなかったからとはいえ、物足りない大会だったと感じられた保護者の皆様も多かったのではないかと思います。今年も条件はほとんど同じですが、2年目の経験であることや総合高校様が昨年度より、たくさんの時間を融通してくださったことにより、リズム運動も行うことにしました。大変なのはわかっていますが、教職員もどこかうれしそうにしているようにも見えます。

6年生が体育館で組体操の練習をしていました。担任は、昨年度の分までという強い思いがあり、気合いが入っていました。学年全員で取り組む大仕事を学級づくり、学年づくり生かし、小学校最後の学年を充実した1年間にしてやろうと必死さが伝わってきます。

子どもたちにも難しいことに挑戦するという喜びが溢れていました。実は、昨日の音楽の時間に態度が悪かったクラスがあり、少々お説教をしたのですが、最高学年としての自覚を高めてくれたのかもしれない。組体操。大いに期待していただいて結構かと思えます。困難に負けずにやり遂げたあとの達成感は、きっと子どもたちを一回りも二回りも大きくしてくれるものと信じています。

おおあらし

5年4組の教室の前を通るととってもにぎやかです。「校長先生にも入ってもらいましょう。」という先生の言葉です。はじめからこうなることは予想していましたので、気持ちよく仲間に入れてもらいました。『きょうだい学級はじめましての会』ということで5年4組の子どもと2年4組の子どもたちが「おおあらし」というゲームをしているのでした。いすとりゲームです。ちゃんと私も真ん中に追いやられましたので「校長先生がイケメンだと思う人！！」と言いました。ダーッとみんな大移動です。でも、よく見ていると動かない子が何人かいました。「あとで校長室へ来なさい。」と言っておきました。

遊びのなかでも子どもの性格がよく見てとれます。単純に私の冗談に乗ってくる子ども。どうしても真ん中でかけ声をかけたくてわざといすに座らない子ども。小さい子をかばってやろうとする子ども。異年齢の子どもたちがともに活動すると、普段は見えない子どもの一面が見えるものですね。

大反省

4月23日は「子ども読書の日」となっています。ちょうどこの日は朝会のある日でしたので、大好きな斉藤隆介さん作の「八郎」という秋田県の民話の読み聞かせをすることにし、何日も前から練習していましたが、テレビの調子が悪くできませんでした。そこで、5月8日の朝会でやることに決めました。

当日は、自分で言うのもどうかと思いますが、なかなかのデキだなあと悦に入っていました。その日の休憩時間に出会った子どもからも「すごくおもしろかった。」という言葉が聞きました。調子に乗っている子どもたちに「どうやった？」とたずねました。そのなかで「なんのことも全然わからなかった。」というショッキングな言葉を聞いてしまいました。

よく考えて見ると「八郎」には、たくさんの方言が出てくるのです。「しまった！！」と思いました。とってもいいお話だったのですが、1年生から6年生までと幅広い年齢の子どもたちを対象にした読み聞かせとしては、ダメなものでした。まだまだ勉強が足りないなあと大反省の1日でした。